

子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的な内容を示し公表することで、保育施設に関わる人の共通の理解を深め、総合的な保育の質の維持向上につながっている。このように、市の保育の取組を指針として整備し、見える化することが重要。各施設の状況を把握した上で検討する。**岩永**防犯・安全対策について、情報連携や防犯訓練等の取組を整理すべき。検討する。

■学童保育所 ■**岩永**生活の場である学童保育所の狭隘状況を早急に改善すべき。高学年の受け入れを含め増設等定員数の確保を。教育委員会と協議しながら進める。**岩永**障がい児保育等の支援として訪問・巡回支援の実施を。検討する。  
■不登校の支援 ■**岩永**不登校児童・生徒数は96人と増加の一方で、トライルーム在籍数は15人と減少。西東京市の不登校やひきこもりの相談・居場所「ニコモルーム」を参考に、子ども家庭支援センター敷地内の離れの部屋を、不登校の子どもが相談したり、自由に過ごせる場に。教育長多様な居場所を求める必要もある。子ども家庭部とも連携し、迅速に進めていきたい。  
★その他、市民の活動の場としても重要な役割を担う公園の整備は、トイレの空白地域の視点も含めること、民間施設とのトイレ利用の連携や、マップ等でのトイレ情報の提供等を提案。

## 教育にかかわる負担軽減に向けた取り組みを



公明党 木島 たかし

ランドセル等の入学準備費用の前倒し支給を  
問) 経済的に大変な世帯に向けた就学援助について、ランドセル購入費等の入学準備のために多額の費用を準備しなくても済むように、入学前に支給をするべき。(現在は入学後の支給)  
答) 新年度に向け対応できるようにしたい。  
災害に強い安全安心のまちづくりに向けて  
問) 木造住宅密集地域の対策として、地震時に設定以上の揺れを感知して自動で電気を遮断し、通電が原因の火災を防ぐため「感震ブレーカー」が有効。促進へ広報と助成制度の検討を。  
答) 重要性を認識している。研究していく。  
安心の介護予防・地域包括ケアの環境整備を  
問) 小規模多機能型居宅介護(「通い」を中心に、自宅に来てもらう「訪問」、施設に「泊まる」のサービスが柔軟に受けられる施設)は在宅での生活を支えるために重要。整備促進を。  
答) 地域に密着した重要な施設。推進していく  
さらに市民に親しまれる「ぶんバス」に  
問) 万葉・けやきルートの利用状況は?  
答) 増加が継続している。7月は1ヶ月で1万

## 第3回定例会陳情の審議結果

第3回定例会では陳情5件を審議した結果、継続5件となりました。

《継続となった陳情》

陳情第29-2号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第29-3号 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情

陳情第29-4号 新市庁舎建設に伴う国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点提供に関する陳情

陳情第29-5号 「日本軍『慰安婦』問題に関する意見書」の見直しを求める陳情

陳情第29-6号 西国分寺駅東口恋ヶ窪側乗降口の開設を求める陳情

人を超え、1日平均も4月の236人から7月は328人となり、この3ヶ月で約100人増加。

問) 高齢者の運転免許自主返納事業(ぶんバス無料乗車バス交付)も好評とのこと。現状は?

答) 9月4日現在で360名から申請があった。

問) バス停への屋根やベンチの設置を。費用の対策は広告や寄付による手法を活用しては。

答) 設置可能箇所は利便性向上のため検討する他に、野川の護岸の老朽化について。安全対策に万全を期していただくよう求めました。

## 多子世帯への負担増中止を市民の公共施設に



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

【少子化対策に逆行する保育料改定は中止を】

今回の保育料改定は自治体職員の事務を簡素化することが議論の出発点になっている。このため、根本的な制度設計として、子どもが3人以上いる多子世帯では保育料が大きく上がる傾向になってしまっている。

問) 市では多子世帯の負担を抑えるために軽減措置を行うとしているが、それでも多子世帯では保育料が上がる傾向にある。多子世帯が負担増とならないようにさらなる軽減をすべき。

答) 保育料についてこれ以上の軽減は考えない  
\*少子化・人口減少の中で子育てに関する一番の不安は子育て費用の負担。特に多子世帯が負担増となる保育料の改定はすべきでない。

【市民プールと九小プールを統合するな】

問) 市民プールは追加ボイラー設置などが提案されている一方、昨年には市民プールを廃止して九小プールと統合する計画が示されている。市民プールの存続についての考えは。

答) 当面、現状のまま市民プールとして残す。  
\*市民プールは長期的に残す判断をし、追加ボイラーなどの対応とともに、抜本的な長寿命化工事もあわせて行なうべき。

【市民団体の会員名簿の提出を求めるな】

問) 名簿提出を求めることは思想・良心の自由を規定した憲法19条違反。

答) 名簿提出は強制していない。団体が使用料の減免や優先予約を受けることを申し出るので提出は団体の意思。

\*全くの詭弁で、市民を無視した考え方だと強く批判した。

## 新ホール使用料、西国分寺駅東口、介護保険



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜新ホールは市民が使いやすい使用料に＞

岡部：再開発西街区5階にオープン予定の新ホールは基本的に市が責任を持って運営費を賄うのか、それとも利用者に負担を転嫁するのか。

答：使用承認を受けた時間帯が占有することから、受益者負担の原則に沿って行う。

岡部：ホールでの市民の間の交流や文化的な行事は利用者だけにその効果が及ぶものなのか。市民全体の文化の向上に資するものではないか。

答：おっしゃるとおり。だが、利用される方については受益者負担はしていただく。

岡部：全く整合性が取れていない。公共施設は民間の貸しホールとは違う。根本から使用料の

設定の考え方を見直すべきだ。

＜東口開設は市長の掲げた公約。早期開設を＞

岡部：いつまでに実現させるのか。行政から市議会や市民にも協力を求めて、一緒になって取組みをしてはどうか。

答(市長)：都知事に要望したり、JRとも引き続き交渉したり、色んな方策を考えている。

＜次期介護保険事業計画に向けて＞

岡部：介護事業者にとって介護職員処遇改善加算が受けにくいという実態は把握しているか。

答：介護人材が集まらない問題は7期(次期)の計画の大きなポイントになってくる。

岡部：介護職員の低い処遇や低い社会的地位が介護人材の不足に直結している。国に制度的な対策と改善を求めるべき。

(介護保険料について)4.4億円積み上がっている基金を次期の値下げのために活用すべきだ。

答：保険料上昇抑制の財源には出来る。

## 耳をかたむけ、まちづくりを推進



自民党新政会 尾作 義明

●多喜窪通りについて

多喜窪通り、都道国3・4・3号線は以前より、市でも交通危険箇所であることを認識している、歩道整備、ぶんバスのバス停などを考慮して整備を進められないか? (市) この路線は優先整備路線であるが事業化が未定。先行して整備する為には課題が多い、周辺の国3・4・11号線などの取組を進め早期事業化を要望してまいりたい。(尾) 市内の多くの道路に愛称がついている。因みに、どこまでが「多喜窪通り」でどこから「丸山通り」か? 他の道路についても整理する必要がある。(市) 国分寺駅南口より東が「丸山通り」。他の道路名称も整理していきたい。

●野川整備の進捗について

都の認識が「親水、修景の整備」から、「老朽化した護岸の早急な整備が必要」と変わった。しかしながら、整備には時間を要する。市内は河川の氾濫を防ぐため雨水を下水へと流している。これが一部地域では、かえって冠水に繋がっている。(市) しっかりと対応したい。

●LED街路灯について

災害停電時に対応した街灯を設置すべき。また、一部にはソーラーバッテリー、Wi-Fi、携帯電話の充電機能、防災無線など多機能な街灯の設置を求める。(市) 導入に向けて検討する。

●民泊の対応について

経済振興策、また住宅地域の安心、安全への取り組みなど、行政は主体的に取り組むべき。

その他の質問「再犯防止推進計画について」「小・中学校の運動会について」「ペットボトルの戸別回収について」

## 映像配信について



平成29年第3回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第4回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信QRコード